

3類型	農林水産物	通巻番号	2 - 22 - 002
地域資源名	牛乳	認定日	平成22年9月29日
地域	岩手県岩泉町	所管省庁	農林水産省、経済産業省

事業名: 飼料の完全自給による^{やま}山地酪農で生産した牛乳を原料とする乳製品製造販売事業

会社名: 株式会社企業農業研究所 所在地: 岩手県下閉伊郡岩泉町上有芸字水堀287
連絡先: TEL: 0194 - 27 - 2122

事業概要(新たな活用の視点)

- ・山間地での通年昼夜放牧、夏季は放牧地に自生する野芝で、冬季は自家採草の乾草による飼育、原則自然交配・自然分娩等を特徴とする山地酪農に取り組んでいる。
- ・本事業では、牧場内に製造プラントを整備し、山地酪農により生産される生乳の特色を活かした牛乳、アイスクリーム、プロセスチーズ及びバター等の製造・販売事業を行う。



ノシバの放牧地

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

競争力

- ・山地酪農は、完全放牧、完全自給飼料等を特色としており、他の酪農法と差別化でき、こだわりの牛乳を求める消費者のニーズに応えることができる。また、日本の乳製品のほとんどが、酪農家から採乳集乳して乳業メーカーが製造するのに対して、牧場内に整備する自社プラントにて乳製品を製造する。

市場性

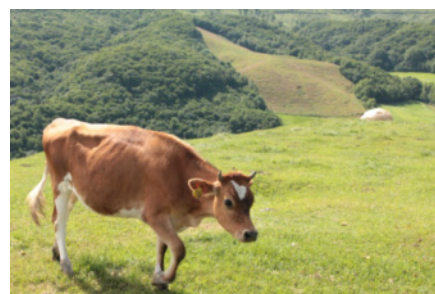
- ・牛乳・アイスクリーム・チーズ・バターなどの乳製品に対して、品質、味、安全・安心に「こだわり」を持つ消費者が一定層おり、相対的に高価な乳製品であっても購入している。そのため、本事業で製造・販売する乳製品についても既存の製品と差別化を図ることで、これらの消費者のニーズに応えることが可能。

販路

- ・高級食品店やデパートの食品売り場等での販売やネット販売。
- ・東京駅等の構内に直販店を設置。
- ・イベントの開催や料理研究家と協力したレシピ開発等。

地域資源における関係事業者との連携

- ・岩泉町の主産業である林業の再生を促すと共に、岩泉町の酪農振興のためにも、次世代を担う山地酪農家の育成は必須であり、岩泉町と連携を図りながら、山地酪農の研究・育成事業を計画している。



放牧地のジャージー牛